

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2018年(平成30年)1月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第98号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 検索

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて 検索

【Facebook】https://www.facebook.com/aac21.net 検索

気力・知力・体力が続く限り

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

る。会を立ち上げた頃の馬力は、もはや残っていない。衰えを感じつつも隔月に現地を訪問し、猛暑の中活動しているが、さすがに日本へ戻るとホッとする。

う昨今である。それにしても最近の高齢者は元氣だ。国民の4人に一人が65歳以上、やがて3人に一人の時代がくるに違いない。

本会を立ち上げて丸18年が経過した。2020年、東京オリンピックの年に記念すべき創立20周年を迎える。

20周年を区切りに、そろそろお役目交代といきたいところだが、そうは問屋が卸さないのが現実。こうなれば当たって砕けるの精神で、気力・知力・体力が続く限り、やってみようと思

セナープロモック小学校に図書室が完成!

2年前、宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)の資金協力により新校舎が完成した「セナープロモック小学校」(プレアピビア県スロコン郡、生徒数1100人)に、この程図書室が完成した。3教室の校舎を増築、校舎同様、宮下さんが資金提供してくれた。

図書館で本を読む生徒たち
(写真提供: 遠藤 啓様)セレモニーで学用品を渡す宮下隆さん
(写真提供: 遠藤 啓様)

ほとんどの生徒は教科書以外に本を読む機会がなかったため、こぞって本を読んでいた。日本では当たり前のことだが、カンボジアでは図書室のある小学校がまだ少ない。図書室建設のために支援をお願いしたい。

第37回「カンボジアふれあいの旅」に12名参加

11月8日〜14日、第37回「カンボジアふれあいの旅」が行われ、会員ら12名が参加した。旅行会社「エイチ・アイ・エス」に催行を依頼、イベント部分を本会が担当する形で実施、観光旅行では味わうことができない盛り沢山のプログラムに、大満足の旅だった。

9日は世界遺産の「アンコールワット遺跡群」を見学した。10日、トンレサップ湖に浮かぶ水上生活村の「メイチュレイ小学校」(生徒数260人)を訪問、学用品を配り生徒たちと交流した。立派な運動場ができていた。

11日、タパウチョムルン小学校(トゥボクモム県)を訪問、ふれあいの旅に参加した広瀬稔さん(愛媛県西予市、里親会員)が寄贈した井戸の贈呈式に出席、その後生徒たちと交流した。12日、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、園児たちと交流した。めいめい持参した折り紙などを通じて交流した。13日、3班に分かれて教育支援する里子の家を訪問した。夢ホーム近くの「ソムプー小学校」に通う里子の家は退役軍人が住むスラム街にあり、異様な雰囲気、圧迫された。2005年から37回続いた「カンボジアふれあいの旅」も今回が最後。3月から装いに新たに「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」として再出発する。

11日、タパウチョムルン小学校(トゥボクモム県)を訪問、ふれあいの旅に参加した広瀬稔さん(愛媛県西予市、里親会員)が寄贈した井戸の贈呈式に出席、その後生徒たちと交流した。12日、本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、園児たちと交流した。めいめい持参した折り紙などを通じて交流した。13日、3班に分かれて教育支援する里子の家を訪問した。夢ホーム近くの「ソムプー小学校」に通う里子の家は退役軍人が住むスラム街にあり、異様な雰囲気、圧迫された。2005年から37回続いた「カンボジアふれあいの旅」も今回が最後。3月から装いに新たに「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」として再出発する。

ふれあいの旅参加者の皆さん
(写真提供: 遠藤 啓様)鈴木千雄さん(故人)が建てた小学校で植樹をしました
(写真提供: 遠藤 啓様)

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。例えば 72 年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 年会費の40%は、米ドルに両替して2ヶ月に一度、直接里子に届けております。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは概ね6ヶ月に一度、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

子どもたちの文集

「希望」が完成

11月15日、石川桂副理事長（愛知県安城市、里親会員）がトロパントム石川小学校を訪問、生徒や住民と交流した。

3月の訪問時に、石川副理事長が生徒たちへ文集作りを提案、前回（7月）の訪問時に49人の生徒が原稿を提出した。

初の試みなのでテーマを設けず、学校生活、日常生活の中で考えていること、感じていることなど、フリーに書いてもらった。

石川副理事長がこれを日本に持ち帰り、カンボジア語・英語・日本語の3つの言語に翻訳された文集が完成、この日、生徒たちに配布した。

（200ページ）

文集のタイトルは「希望」（サブタイトル＝助けて学んだトロパントムの心）。好評につき第2集を計画中。



生徒たちに文集を届けました

児童養護施設

夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳～18歳の男女12人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

■ふれあいの旅のメンバーが訪問

11月12日、「カンボジアふれあいの旅」に参加した12名が訪問、しばし子どもたちと交流した。特に折り紙が好評で、子どもたちは時間を忘れ夢中になっていた。男性のメンバーは、サッカーや魚釣りを一緒に楽しんだ。

■カバンをプレゼント

神奈川県藤沢市の里親会員、根谷崎百合子さん他1名様から、子どもたちの通学用カバンが全員に贈られた。11月から新学期、子どもたちは新しいカバンに教科書などを入れ通学している。感謝！



新しいカバンで通学しています

カンボジアの小学校と村に6つの

井戸が完成

11月11日、第37回「カンボジアふれあいの旅」の中で、広瀬稔・美保様ご夫妻が小学校に寄贈した井戸の贈呈式を行った。広瀬様ご自身も式に出席、生徒たちと完成を祝った。

また、11月17日～18日、松原睦美様が寄贈した5つの井戸の贈呈式を行った。4つを小学校に、1つを村に寄贈した。式には根岸理事長が出席した。



松原睦美さんが寄贈した井戸



井戸を寄贈した広瀬 稔さん

11月に完成した井戸の内訳

	寄贈者名	学校（村）名	生徒数	所在地（県名）
①	広瀬稔・美保様	タバウチャムルーン小学校	316人	トゥボンクモム県
②	松原睦美様	ベイメート小学校	474人	トゥボンクモム県
③	松原睦美様	チューク小学校	598人	トゥボンクモム県
④	松原睦美様	カレーク小学校	269人	トゥボンクモム県
⑤	松原睦美様	バライ小学校	395人	トゥボンクモム県
⑥	松原睦美様	プロヨック村	1341人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年～)：314基 (11月現在)

ジーボア小学校を訪問、

校舎の新設を約束

11月15日、石川桂副理事長が「ジーボア小学校」（コンボンチャム県、生徒数1221人）を訪問、村人たちと懇談のときを持った。9月に続き二度目の懇談会。

懇談の中、石川副理事長は新校舎の建設を約束、住民たちは大喜びだった。

工事は1月に着工して7月に完了、11月に贈呈式を予定している。

石川副理事長は、トロパントム石川小学校に続き2校目の校舎建設。



住民たちと懇談しました

遠藤健介さんが夢ホームを訪問

9月26日、遠藤健介さん（愛知県あま市、会員）が夢ホームを訪問、子どもたちと交流した。

もの造りを通じて夢を持つきっかけになればと、今回は「モーター造り」を行い、モーターキットと工具類を寄贈してくれた。

遠藤さんは大学生。鈴木千雄さん（故人）の紹介で夢ホームを時々訪問している。



モーター造りをしました

《夢ホーム》

第34回鑄造によるアクセ

サリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん（横浜市、理事・里親会員）は隔月にカンボジアを訪問、夢ホームの工房で、夢ホームや近所に住む子どもたちを対象に、アクセサリー作りの技術講習会を開催している。

第34回目となる講習会を、11月14日～18日に行った。

高等学校卒業とともに夢ホームを卒業した子が2人いるため、一時的に受講生が少なくなった。

受講生は、花や椰子のアクセサリーを製作している。特に花の出来栄が良かった。

次の講習会を1月22日～24日に予定している。



一時的に受講生が減りました

4教室の新校舎が

ほぼ完成

「味の素労働組合」及び「味の素グループ労働組合」の資金協力により新校舎の建設が進み、4教室の新校舎がほぼ完成した。

新校舎は4教室、レンガブロック造りの平屋建て。

1月28日、「味の素労働組合」の皆さんが出席して贈呈式を行う予定。



ほぼ完成した4教室の校舎

鈴木小学校植樹

プロジェクト第3弾

鈴木千雄さん（故人）が寄贈した小学校に植樹しようと、親しかった遠藤啓さん（静岡県伊豆の国市、会員）が鈴木さんと交友のあった人たちに呼びかけし、集まった資金で3回目の植樹作業を11月16日に行った。遠藤さんと根岸理事長が参加した。

今回は樹木に加え、外用ベンチを2台購入した。

樹木購入カンパも継続中。（一口千円）問い合わせ先（遠藤さんの携帯）0901415018850



ベンチも寄贈しました
(写真提供：遠藤 啓様)

集合写真を撮り続けて15年

11月1日～19日、遠藤啓さん（静岡県伊豆の国市、会員）がカンボジアを訪問、数多くの小学校を訪問して生徒たちの集合写真を撮り、一人一人に差し上げた。

遠藤さんは、本会の活動をサポートする傍ら、アマチュアカメラマンとしての技術を活かし、15年間の長きに亘りカンボジアの小学校で集合写真を撮り続けてきた。その功績が認められ、近々にカンボジア政府から感謝状が送られる予定。



15年間撮り続けました
(写真提供：遠藤 啓様)

宮川公子さんが

2つの小学校で音楽指導

11月20日～25日、宮川公子さん（宮城県石巻市、里親会員）がカンボジアを訪問して、2つの小学校で音楽指導（鍵盤ハーモニカによる器楽指導と歌唱指導）を行った。

今回、アシスタントとして佃絹代さん（福井県、里親会員）が宮川さんに同行してくれた。

最終日には2つの小学校でそれぞれミニ発表会を行い、和やかな雰囲気の中で終了した。

期間中、お二人は夢ホームに泊まり、子どもたちと交流した。



音楽指導する宮川公子さん（右が佃 絹代さん）

村の子どもたちに

寄贈品を届けました

11月14日～20日、根岸理事長が延泊中、村の子どもたちに日本から持参した寄贈品を配布して喜ばれた。

※配布した品物と寄贈者は次の通り

- ・ぬいぐるみとお菓子（加藤知恵子様）
- ・鉛とカードのセット（岩橋京子様）
- ・折り紙（後藤美由紀様）
- ・文具、アメニティグッズ（乙黒裕子様）
- ・文具（石津哲子様）



ぬいぐるみをもらい嬉しそうです

クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親又は片親を失い、なおかつ貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の貧しい子どもたちを教育支援している。

11月13日、第37回「カンボジアふれあいの旅」の活動の一つとして、3組に分かれ、里子の家を訪問した。10人の教育里親さんが参加した。

里子に久しぶりに会ったり、初めて会った教育里親さんは、めいめいプレゼントなど持参、しばし交流した。

11月16日から19日にかけて、根岸理事長が一部の里子を訪問、プレゼントを届けたり、新里子ヘインタビューした。

11月から新学期がスタート、大半の里子が進級でき一斉に通学が始まった。



里親さんからプレゼント



教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では、現地スタッフが、里子が通う小学校を隔月に訪問し、教育里親様から頂いた支援金を里子に届けている。中学校・高校に通う里子も、出身した小学校に集合してもらい、支援金を渡している。

里子には、教育里親様から頂戴した年会費(3万円)の40%にあたる金額を年6回に分け、米ドルにして渡す。(為替レートにより時々変更になるが、現行では2カ月分として毎回17ドルを渡している)

カンボジアの物価も上昇しているため、近々に40%⇒50%分を支給できるように、本会としても鋭意努力中。

病気などにより、当日に来ることができなかった里子には、次回に4カ月分を渡すことにしている。



教育支援金を里子に渡す⇒
現地スタッフ

会の運営に関わる検討委員会を開催

本会では、理事会への諮問機関として、会の運営に関わる諸課題を検討するための委員会を設置、早速第1回の会合を11月14日、カンボジアのプノンペンで開催した。

委員会のメンバーは理事を中心に4〜5名、日本で集合するものが困難であるため、ツアードカンボジアを訪問した時に開催する。(年3〜4回)

11月に行われた委員会では、ツアー、夢ホームなどについて熱心な議論を行い、その内容は理事会に答申される。



ミトホテルの喫茶店で

菊池和雄さんが写真展開催



会場に掲示されたカンボジアの写真

11月8日〜12日、菊池和雄さん(カンボジアの子供達に夢と希望を贈る市民の会代表・日立市、本会会員)が写真展を行った。

日立市では、毎年「ひたち国際文化まつり」を開催しており、その中でカンボジアの写真展を行った。

写真は、カンボジア王国の紹介、文化紹介、水上生活者の村と小学校の紹介、子供達の紹介、及び小学校対抗サッカー大会の紹介など、それぞれパネルを6面使い展示した。

会場には、沢山の市民が来場し、祭りを楽しんだ。

カンボジア写真展は、今後も継続して開催する予定。

「グローバルフェスタ2017」に出展

9月30日〜10月1日、恒例の「グローバルフェスタ2017」が「お台場センタープロムナード」で行われ、本会も出展した。

日本最大級の国際協力イベントとして毎年この時期に開催、両日とも好天に恵まれ、大勢の来場者でにぎわった。ステージではピコ太郎を始めとする芸能人や著名人が多数出演、イベントに花を添えた。

本会のテントでは写真やパネルを掲示し、会報を配って広報を中心に活動した。



カンボジアサッカー指導の活動報告を行う菊池和雄さん

『梯剛之(かけはしたけし)チャリティコンサートin新潟』に出席

10月1日(日)、「世界の恵まない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)が主催して標記チャリティコンサートが新潟市内の「新潟テルサ」で行われた。

昼夜2回の公演に大勢の方が来場され、梯剛之さんの素敵なピアノ演奏に酔いしれた。梯さんは全盲のピアニストとして、世界的に活躍している。

昼夜のコンサートに先立ち、来年度にカンボジアのコンボンスプー県内に建設が予定されている小学校の校舍・建設資金の目録贈呈式が行われ、根岸理事長が出席して目録を頂戴し、感謝のお礼を述べた。



目録を頂く根岸理事長(右)

ウオッチカンボジア

カンボジアの刑務所

たまたま、知り合いのカンボジア人の家族が犯罪を犯し、刑務所に収監されていることから、家族の一人が面会した時の様子を聞くことができた。

プノンペンから南へ40分の所に、プレイソー(白い森)という名の刑務所がある。

男子と女子の刑務所が隣り合わせになっていて、高い塀がなければ刑務所とは分からないのどかな環境の中にある。

面会の待合場には、両手一杯に食材を持って大勢の面会人であふれていた。刑務所内にも市場があるが、高いので家族などの面会人が差し入れする。勿論食事は出るが、量が少ないので自炊するらしい。お金の差し入れは認められている。

面会時間は約10分。面会人は靴などを脱がされ、カバンなどの身の回り品はビニール袋に入れられて官吏に預ける。

収監する部屋には複数人の受刑者がいて、不衛生な環境の中で暮らしているようだ。



もち米入りの竹筒が好評

地方に行くと、道路沿いで煙を立ててご飯を蒸している店が軒を連ねている。中に小豆の入ったもち米を竹筒のような物に入れて売っている。(カンボジア語でクローランという)

小腹がすいた時に食べるおやつのようなもの。日本円で1本50円。試しに食べてみたが、とても美味しく頂けた。



実りの秋(?)

カンボジアには四季がないので「実りの秋」とは言えないが、雨季が終わる11月頃は稲穂が熟し、やがて稲刈りが始まるところだ。



少年僧が300人いるカンボジアのお寺

プノンペンから国道2号線を車で1時間半ほどのタケオ県に、少年僧が300人以上暮らしているお寺を訪問した。

少年僧たちは公立小学校に行かず、お寺の中で学んでいる。大半の子どもが孤児や親の都合でお寺に預けられた子どもで、お寺を出て村に戻る子どももいるそうだ。



写真提供：遠藤 啓様



新潟発↓カンボジアに通っています

三林 けい子

「新潟の「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」様が3年前にトン・トロラツチ村に小学校を建設。同郷である私は敷地内にブランコと滑り台を、奈良の上山さんから井戸を寄贈していただいた。

あれから毎年この「トン・トロラツチにいがた小学校」に通っている。今回、プノンペン大学日本語学科の学生と一緒に訪問し、日本語教室や大人気の運動会、卓球大会を楽しんできた。大学生は初めてのボランティア活動であったとのこと、子どもたちと同様に喜んでいた。

この村にはいろいろな団体の支援が入ってきた。校庭内に図書館が建ち、水道も電気も寄贈により開通された。現在、中学校が建設中であり、私には幼稚園の教室が二つ欲しいと要望された。

次に訪問したのは、来年小学校が新設されるロマンソー村。一足先に井戸を寄贈しました。何もない広い土地にこれから子どもたちの笑い声が響くかと思うと次回の訪問が楽しみです。



プノンペン大学生の皆さんと

みです。いろいろ遊び道具を持ち込み、そして子どもたちに進学の希望を持たせたい。私の訪問先が一つ増えることになりました。そしてレンタカーのドライバーがつぶやいたのは「私の村はもっと貧しい、私の村にも来てもらいたい」そう、次はその村にも行くことにしよう。

日本人と大学生と子どもたち、この組み合わせが明るい未来を築くのだとそう思っています。

(新潟市、里親会員)

活動に参加しませんか

クメール教育里親会員

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートしてくださる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。(年会費を含みます)

個人・団体会員として

・個人会員(年額5千円)
・団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費 寄付金の送付は、銀行振込郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちよ銀行】

019支店 当座 0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通 4098235

●ゆうちよ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

長かった内戦に翻弄された 退役軍人たちのいま

11月13日、「カンボジアふれあいの旅」の里子訪問に同行した時のことである。

夢ホームにほど近い、貧しい村に住む里子を訪問した。

里子の家は、何やら異様な雰囲気のある区にあった。聞くと、退役軍人が住むスラム街だという。傷痍軍人が多く住み、入れ墨の人やアルコール中毒の人もいた。

里子の家の父親もアルコール中毒だった。兄が2人いたが、定職についていないということだった。住んでいる人々は活気がなく、長かった戦いに疲れた顔をしていた。

訪問した里子は緊張していたのか、笑顔もなくぶつきらぼうだったが、慣れたきた帰り際には、里親さんにハグするなど幾分元気になっていた。



スラムで暮らす退役軍人とその家族
(写真提供：遠藤 啓様)

急成長し、首都プノンペンが高層ビルが立ち並び、外資の導入による縫製工場が国道沿いに軒を連ねている。

しかし一歩中に入ると、その日のパンにさえ事欠く住民がまだ多くいる。未就学の子、中途退学の子も沢山みられる。底辺からの底上げが必要に思う。

お年玉募金にご協力お願いいたします

今年も「お年玉募金」をお願いする時期になりました。

今年も昨年に続き、児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちをお支え頂きたく、お願い申し上げます。

カンボジアでは物価が上昇し、夢ホームの運営が大きな財政的負担となっております。そのため「夢ホーム運営基金」を設置致しましたが、一部の方のご協力にとどまっております。皆様のご支援をお願い申し上げます。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■11月8日(土)14日に行われた第37回「カンボジアふれあいの旅」は12人参加して無事終了いたしました。3月からは、装いを変えて楽しい旅を計画しております。引き続きご参加よろしくお願い致します。

■東京本部では、神山亜希子スタッフが都合により11月20日付で退職、後任に山上章スタッフが着任いたしました。久々の男性スタッフです。

■早いもので、2017年度の活動も終了、18年度も充実した活動を行って参ります。今後ともご指導よろしくお願い致します。

1月～2月の予定

●会報「アンコールワット」1月1日付第98号発行

●根岸理事長他多数の会員がカンボジア訪問(1月中旬～下旬)

●「味の素グループ労働組合」がカンボジア訪問(1月26日～30日)